科目名	情報システム論　　Information Systems						
科目担当者	森田 英二　　MORITA Eiji						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義／実習	開講学期	
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(1)(2)
授業の概要	一定レベルの情報処理に関する知識を習得しても、企業における業務管理に関するシステムを設計して、各種の情報システムを構築することは困難といえる。 そこで本講義では、表計算ソフトウェア（MS-Excel）のプログラム開発環境（Visual Basic Editor：VBE）を利用したマクロプログラミング機能に関する基本的な内容と操作方法について学習し、これらの知識を踏まえて企業における業務フローをシステム化するための手法を習得することを目的とする。						
授業の到達目標	①MS-Excel のマクロ機能に関する知識をビジネス実務に活用できるようになる。 ②実践的な VBA プログラミングテクニックの習得により、定型的な業務処理をシステム化できるようになる。						

授業計画・内容		
	1	イントロダクション／マクロ・VBA の基礎知識
	2	マクロの作成
	3	複数のマクロ処理と保存
	4	マクロの編集
	5	モジュールとプロシージャ
	6	プロシージャの構成要素と作成
	7	変数と条件分岐①（If～Then）
	8	条件分岐②（Select～Case）
	9	処理の繰り返し①（For～Next）
	10	処理の繰り返し②（Do～Loop）
	11	販売管理プログラムの作成①（処理の確認）
	12	販売管理プログラムの作成②（印刷・仕上げ）
	13	デバック
	14	総合問題演習
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	毎回、テキストの学習範囲を熟読し、円滑にパソコンの入力ができるようにしておく（毎週 2 時間程度）。
授業外学修 （事後学修）	毎回、パソコンで入力したデータを確認して、遅れている場合は進めておくこと（毎週 2 時間程度）。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 学習の進捗度	60% 40%	①、② ①、②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	㈱富士通ラーニングメディア『よくわかる Microsoft Excel マクロ/VBA　Office 2021／2019／2016／Microsoft 365 対応』FOM 出版
参考文献	なし
その他	＜望ましい受講生＞ パソコンの基本的な入力操作が確実で、MS-Excel 基礎の習得を前提とする。 ＜あらかじめ受講して欲しい科目＞ 「情報処理応用」「アルゴリズム I・II」 ＜併行して受講して欲しい科目＞ 「プログラミング基礎 I・II」